レッスン：PYR48

テーマ：質問＆答え

PYR48KE06 L11/052

私の兄弟・姉妹たちよ、

スピリット、光、そして火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

多くのレッスンで私たちは現在のパーソナリティーと絶対存在との関係について話しました。そして最近のレッスンでは永遠のアトムと現在のパーソナリティーの関係を分析してきました。永遠のアトムは潜在的マインドとしてのマインドの中心にあると説明しました。

　永遠のアトムはそれ自身の形はありませんが、しかしその内側には人間の元型としてのイデアフォームがあります。

**私たちには2つの同一の体があり、それらは創造界の元型、創造界の骨組みによって維持されています。1つの体はLifeのスパークであり、それは現在のパーソナリティーを活性化し、もう一つの体は自己実現した現在のパーソナリティーが使用する高次ノエティカル体です。**

　ですから、これからはレッスンの初めから今日までに与えられた内容に関して、さらなる詳細をお話していきます。

このレッスンは質問と答えとして続きます。

Q：Lifeのスパークによって活性化される体はダブル・エーテリックですか？

K：違います。

**サイコノエティカル体、現在のパーソナリティーがLifeのスパークによって活性化されます。Lifeのスパーク、それはLifeそれ自体には体があり、その体とは天人の体です。実際それは同一で一つです。そしてLifeがその本質を完全に現すためにはこの体を使用する必要があります。**

Q：はい、しかし肉体にエネルギーを与えるダブル・エーテリック（＊エーテル体）とは何ですか？

K：ダブル・エーテリックはエネルギーを与えません。それは肉体が築かれるための鋳型です。そして勿論、エネルギーはダブル・エーテリックに行き、そこから肉体に入ってきます。もし肉体が良い健康状態でなければ、それはダブル・エーテリックに適切なエネルギーがないことを意味します。私たちが一般にエネルギーを消費するという時、その結果はダブル・エーテリックに来ます。

実際、肉体が苦しんでいるとき、その原因はダブル・エーテリックから来ます。

パーソナリティーはサイコノエティカル体であり、それは肉体ではありません。

そして何であれ肉体にあるもの、それはサイコノエティカル体、つまり現在のパーソナリティーが原因となります。つまり、その人の思考・行動の仕方です。それが肉体の健康に影響を与えます。毎日の生活において私たちがどのように行動、機能するかが肉体の健康にも影響を与えます。しかしまた、現在のパーソナリティーとしての私たちの現れのバランスにも影響を与えます。

その理由はそれら3つの体が不定形だからです。勿論、不定形と言うとき、肉体は含まれていません。しかし、その肉体の健康には関係します。

Page2

肉体は骨組みによってサポートされており、骨組み、それは創造の元型、つまり生命の木です。それがないと、私たちは人間の肉体としてのこのフォームを持つことができないでしょう。

**サイコノエティカル界の諸世界の人間として、私たちにはこの天人の体にマッチする同じ体を持っていません（その体は私たちの内側にはあるにも関わらず）。ですから自己実現に到達して各体が完全にエネルギーを得て再形成されることが、現在のパーソナリティーのやるべき努力です。**

Q：使用される体がすでに形成されているとはどういう意味ですか？

K：私たちの内側にはLifeのスパークがあります、そしてこのスパークは何か小さいものとみなすかもしれません。しかし、このスパークは諸宇宙をもその中に抱くことができるのです。

そして諸宇宙は私たちの中にあるLifeの小さなスパークの状態における微細な部分でしかないかもしれません。

多くのレッスンで述べたように、最大の中にあるものは最小の中にもあるのです。そしてその反対も言えます。このLifeの微細なスパークは神です；私たちは神を“大きさ”で分けることはしません、なぜならサイズ、大きさなどというものはないからです。神はLifeの微細なスパークからどれだけを現しているかによって分けられます。

　多くのレッスンで述べたように、私たちはLifeにその範囲、境界を与えることはできません。ですからLifeのスパークは現在のパーソナリティーを活性化するのです；それ自体が境界ある現れに入るわけではありません。しかし、何か、状態を活性化して、神の黙想における仕事が達成できるようにします。しかし、最終的にはその現れすらも徐々に、ゆっくりとLifeのスパークと一つになります；このように進んでいくのです。

Q：イエス・キリストの場合、スパークがそれ自体を現していたのですか？

K：イエスキリストロゴスは神それ自身における現れです。そしてそのスパークはその本質を完全に現していました。しかしイエスキリストロゴスですら他の同胞の人間にアプローチできるように、または人間の側からアプローチできるようにはそれ自身を現していませんでした。それ故に時に彼は自分自身を全ての人類の代表として見て“主なる父は自分自身よりずっと大きい”と言い、しかし別の時は“私たちの父と私は一つである”と言いました。

Q：もし誰かが健康でない場合、その人を助ける一番良い方法は何ですか？

K：もし誰かを助けたい場合は、その人が良い健康状態にあり、その人が毎日の生活において笑顔を浮かべて普通に生活している光景を視覚化します。

　もしその人がエレブナの会員なら、その人は既にその人に良い健康を提供するための、そして気づきの向上に向けての努力を助けるためのプログラムされたエレメンタルを持っており、いつもそれらが共にあります。もしエレメンタルのエネルギーが失われたら、自動的に源に行って再びエネルギーを得てあっという間に戻ってきます；このプロセスは時間という意味を超えています。

Q：3つの太陽のエクササイズがありますが、それらの太陽が活性化されると、私たちはそれが自分の内側で生まれるのを見るということで、別の体が入ってくるということではないのですね？あるいは太陽のエネルギーセンターが私たちの内側で誕生するのですか？

K：それらは現在のパーソナリティーを構成するセンターです。それら3つのセンターは各体のセンターです。それらのセンターが完全に活性化されている時、その現在のパーソナリティーは自己実現に到達していることを意味します。また前にそれらのセンターの輝きの色を伝えましたが、それはそれらのセンターが完全に活性化し、機能している時の色です。私たちは気づきの上昇への助けにならないものにはタッチしません；それゆえに様々な別のステージにおける異なった色を提供することはしません。私たちが提供するのは完全に活性化されたセンターの色を提供しています。

　他のほとんどの組織、グループでは別の色を提供していますが、彼等は完全に活性化された時の色を知らないのです。それはそれらのセンターが非常にゆっくりと回転していて、その表面だけを見ることができるのです。活性化されていない時、その活性化されているレベルに応じた表面の色を見ることになります。回転させると、それはどんどん速く回転することを意味し、あなた方に提供された1つの色に到達します；試してみてください。

　ディスク（円盤）は多くの様々な色を現します。もしゆっくりと回転させると多くの色が現れ、速く回転させると出てくる色は少なくなります。なぜならミックスされるからです。そしてもし速く回転させると1色だけとなります；それがあなた方に提供された色です。なぜなら、それが私たちが目的としている色だからです。私たちは停止せず、現在のパーソナリティーが停止しているのを助けることを望んでいません。私たちは常に前を見て、もし可能ならば達成されるべきゴールを見ています。

Ｑ：14芒星では上を向いているポイントおよび下を向いているポイントがありますが、それはヤコブの梯子と関係あるのでしょうか？

Ｋ：その関係については将来分析されるでしょう；ヤコブの梯子の14の段と14芒星、それらは偶然ではありません。なぜ14なのか？なぜ７なのか？なぜ7つのヘブンがあるのか？偶然というものはありません。7つのヘブンと存在の諸世界に関する創造界の母、そして7芒星に関しては偶然ではありません。なぜ？勿論、低次のヘブンにおける可能性、能力はまた元型、イデア、法則、原因として存在の諸世界にもあるのです。ですから14芒星とヤコブの梯子の

14のステップは偶然ではありません。

　ヤコブの梯子のステップを12という数字と関連づける人もいます。ヤコブの梯子のステップは14ではなく12だけだと言う人もいます。同じ事は実存の諸世界へのロゴスの下降に関するエゴの12の側面についても言えます。10という数字、そして他の12という数もあります。

Ｑ：現在のパーソナリティーが3番目のサイクルに到達し、現在のパーソナリティーがエゴの側面を扱う時には、それらにアプローチするのでしょうか？

Ｋ：いいえ、現在のパーソナリティーは4番目のサイクルでそれらの様々な側面を取り除くあるいは殺し始めます

…いわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現している時に。

3番目のサイクルでは現在のパーソナリティーは半神を現す、ヘラクレスのようなセルフを現す準備をし、そして火の洗礼のプロセスにおいて様々な側面を取り除き始めます；つまりあなたはLifeそれ自体からより多くを現すようになるのです、

多くの境界、制限を取り除き、そこでは全てが加速されます。それに向き合いましょう、この段階では、現在のパーソナリティーとしての4番目のサイクルでは、あなたは多くのパワーと能力を現します。勿論、このプロセスは3番目のサイクルのなかで始まり、そこではゆっくりと徐々にあなたはより意識的に生き始めるようになります。そして何が正しくて何が間違っているかを知り、徐々にゆっくりと真の感覚をより意識的に使うようになります。

**3番目のサイクルが終了すると5つの真の感覚が表現され、あなたは5つのピラミッドをマスターしています。**

4番目のサイクルにおける主なワークはエゴの様々な側面を除去することです…完全に。

言い換えれば、何であれ三面ピラミッドが提供するものを使って4面ピラミッドをマスターし、完了させ、そのピラミッドの頂上に立つことができるようになるのです。それはつまり現在のパーソナリティーをマスターすることであり；現在のパーソナリティーの不定形の諸体が完全に再形成されるということです。

Q：新しい転生においては、新しいパーソナリティーは懐妊の瞬間に入るのでしょうか？

K：いいですか、女性が懐妊するとき、それは偶然起きるのではありません。それはある特定の現在のパーソナリティーがその体を使おうとするのです。

Q：赤ん坊を出産するやり方自体が影響を与え、違いをもたらすのですか？

K：そのパーソナリティーにはまったく影響を与えません。もし身体が築かれるのなら、それはそのパーソナリティーのためです。そしてそのパーソナリティーに関してはすでにあらかじめ決定されています；ですからそのパーソナリティーというものは懐妊に先んじて決まっています。

Q：それでは何であれ出産の間に生じることは全て予定されているのですね。

K：そうです、それはすでに計画されています；そのパーソナリティーがこの夫婦の間に誕生すると“決定”されてから身体が築かれるのです。築かれる肉体は現在のパーソナリティーではありません；それはその特定のパーソナリティーが使うことになる身体です。そして最近のレッスンで述べましたが、そのパーソナリティーは乗り物である永遠のアトムの結果であり、永遠のアトムは行ったり来たりして各現在のパーソナリティーを転生させます。

そしてその決断は、このパーソナリティーが与えまた受け取ることになる体験、経験と関係することになる他の全ての人々の決断と共に、永遠のアトムと永遠のアトムの中のLifeのスパークが決めます。

Page4

その身体は聖霊的にその現在のパーソナリティーのために築かれ、聖霊的に活性化されます；しかし、身体はその特定の現在のパーソナリティーのためのものですが、その現在のパーソナリティーはまだ身体に入っていません；しかし身体は生きていますが。どのようにしてその身体は生きているのでしょうか？それは身体の中で聖霊が働いているからであり、またその身体を使用することになるパーソナリティーとのつながりがあるからです。しかしまだパーソナリティー自身は身体の中に入っていません。それは最初の呼吸と共に身体の中に入ります。

　身体に加わります、なぜなら現在のパーソナリティーは肉体ではないからです。身体が築かれるためにはまずノエティカル体、サイキカル体そして肉体を使う現在のパーソナリティーが必要である、と言いました。

　サイコノエティカル体はどこにあるのでしょうか？だれがサイコノエティカル体を表現しているのでしょうか？何が肉体に加わって、その結果現在のパーソナリティーがその身体を使い始めるのでしょうか？肉体に加わるのはサイコノエティカル体です。

　さて、誰がサイコノエティカル体を現すのでしょうか？サイコノエティカル体は永遠のアトムの結果として現されます；それは永遠のアトムの現れです、なぜならば永遠のアトムにはそのなかにLifeそれ自体があるからです。それゆえにサイコノエティカル体は築かれるものではなくて、現されるものである、と言っているのです。そしてその現れが誕生するのです。

Q：しかし子宮の中の子供は反応しますよね。

K：子宮のなかにいる間、子供は思考を現すことができません、動きがあるだけです。確かに彼等は肉体のように本能的反応は示しますが。しかし何かをそこに現すということはありません。あなたがハエに攻撃される前にあなたの皮膚がそれを感じます、そして皮膚はあなたがそれに気づく前に反応します。あなたが現在のパーソナリティーとしてそれを感じる前に一瞬の時間がかかっています。しかし皮膚は即座に反応します。身体にはそれ自体の意識があるのです。

　ですから、子宮内で胎児が赤ん坊として十分に育つとこのように反応します。それは現在のパーソナリティーではありません。機能をもたらすのは呼吸です；呼吸がなければこれらの実存の波動のなかには生命はありません、呼吸がなければ生命は身体とつながることができません。そして肉体脳はバッテリーですが、肉体脳に酸素が供給されることによって知識が現されるのです。

　空気はバイタリティー、活力です。それはヘブンのマナ（＊神から与えられた食物）であり、そのマナはレッスンやエクササイズで述べたように、あなた方はそれを身体全体から吸い込み、吸収することができるのです。それが私たちがエクササイズで実践していることです。

Q：頭の中のおしゃべりをコントロールできるということは重要ですが、どのようにしたらよいでしょうか？

K：この二元性のゆえです。2つの小さなエゴのなかのより小さな方が、気づきを高めようとする努力からあなたをそらせようとするのです。あなたは何であれあなたが行っていることにフォーカスする必要があります。

Q：はい、簡単なことをしている間だと、私は自分をある種の瞑想状態において、それによってここでのレッスン中に話されたことなどを考えます。もう少し自分で熟考したいことなどを考えて、自分自身に問いを発します。もし、ただ食器を洗っている時などは、心が目的無しにあちこちに漂っています。

K：はい、でもそれは良いことではありません。あなたは何であれその時行っていることにフォーカスすべきです。たとえそれが重要なことではなくても、そしてあなたはそれを時間の浪費だと見なしています。

Q：しかし、例えば私が水泳をしていて、私はそれを機械的な運動だとみなします。そのような時に自分が選択した何かについて考えることはできないのですか？

K：もしあなたの身体が機械的に動いている時、あなたは何を楽しむのですか？

Q：私は自分の心の自由を楽しみます。

K：あー、それならあなたは自分がしていることを楽しまないのですね。あなたは現在のパーソナリティーとしてのあなたを自分の身体から引き離すわけです；それがその時にあなたがしていることです。

Page5

Q：例えば私が水の中に入る時と自分が何をしているのかわからない時では、違いがあると思います。私は今突然わかりました、そうです、私はここに長いこといて、そして元に戻り、そして何かについて考えるために自分に仕事を振り当てます。2つのことを同時にはできないのですか、例えば自転車に乗りながら何か他のことを考えるとか？

K：本当にその瞬間を楽しむためには、その瞬間内以外のことにフォーカスすることをやめる必要があります。もし自分がその時していることを楽しみたいのなら；さもないと、いいですか、あなたはその瞬間を楽しむことができません、そのようになっています；その時にあなたがしていることを真に得ることができません。もし私が真に何かを行い、その時間をできるだけ“完全なもの”にしたいと願うなら、私はその何かにフォーカスし、その邪魔をするような他の考え、想念のスイッチを切る必要があります。実際それは全てに当てはまります、趣味であれ、何であれ。もし同時に多くのことを考えるなら、何であれ考えていることはベストなものとはなりません。

Q：私は毎日数キロ歩きます。そして自分の身体に集中します、自分の呼吸、自分が観察することなど。それは私にとって瞑想のようなものです。

K：武道をするときには人々はそのようにします。もし自分の身体をあるべき動きにそって動かしたいのなら、他のことは考えずに現在のパーソナリティーと一体となりなさい。運動をするときには、あなたは真に自分の身体となるのです。そうして得られる強さは信じられないくらいです。もしフォーカスしなければ何も達成できません。

Q：私の質問は、頭のなかのおしゃべりを止めることの出来ない人々をどのようにして助けたらよいかというものです。今に集中しなさいと言いますが、しかし何か痛みがあれば彼等はそれに心を向けます。

K：彼等は徐々に痛みから自分自身の注意をそらすべきです。皆さんにはエーテルの様々な特質をマスターするエクササイズが与えられています、手の指の一本だけにさえ集中することができるように、そしてあなたはそこだけに存在します、それ以外の何をも感じたり、考えたりしません。最小のものにさえフォーカスすることができ、あなたの全存在がそこにあるようにします。それは簡単なことではありません。数分間あなたのフォーカスをコントロールするようにしてみてください、するとそれがいかに困難なことかがわかるでしょう。人は1分間、または10分間だけでなく、一日中、朝から晩まで一点に集中することができなければなりません。

　もし肉体にマインドのパワーを送りたいのなら、静止して何もせず、考えが他のことにさまよい出ることなく、ただその一点、1つのスポットだけにフォーカスします。

Q：例えば、散歩に行くとき、足が道の敷石に触れるのを感じ、身体が動くのを感じ、そして自分は身体の中にいます。そして鳥のさえずりその他周囲で起きていることに気づいています。歩き、そして観察します。

K：あなたが物事を観察する時、自分の身体のことを忘れます；身体は自動的に機能しています。肉体についてあなた何も達成しません。あなたは両方できますか？

Q：起きていることを楽しむのは悪いことですか？

K：身体は何かを達成するでしょう、しかしそれは現在のパーソナリティーの努力なしにです。そしてその身体による達成は、現在のパーソナリティーが真に(＊身体を）助けている時ほど高くはありません。

Q：しかし、もしそのようにフォーカスをそらす場合、それはアークエンジェル達が身体に働きかけるのを許すということではないでしょうか。なぜなら私が彼等の働きにまったく干渉しないからです。

K：考えは干渉しないのですか？もしあなたが身体にフォーカスして身体を助けようとすると、それは身体の中の聖霊的現れと一緒に働いていることになります。反対に、何か他のことを考えていると、それらの考えは聖霊の働きの邪魔をすることになります。なぜならあなたの考えが肉体に影響を与えるからです。

　基本的に、今その時に何を行うかを決め、そこに集中するのです。一度に2つのことを行い、両方に完全な注意を向けることはできません。もし私が歩くことを決めたら、私は現在のパーソナリティーとして身体と一つになります。それゆえに武道その他を行っている人の内側に大きな力を見るのです。それは集中の結果です。あまり筋肉もなく、あるいは非常に痩せている人でも大きな活力、精力のある人がいます。そのような力をどこから得ているのかと不思議に思うかもしれません。大部分の人は集中することがとても難しいと感じています。なぜなら、彼等の心があちこちさまよい出て、特定の事に集中できないからです。

Page6

　いいですか、真理の探究者にとって一時に一つのことに集中することができて、心が勝手にあちこち彷徨い歩かないということは非常に重要なことです。しかし、それはかならずしも簡単なことではありません。

　パーソナリティーに快楽(pleasure)と楽しみを与えるものが、必ずしも価値があり、現在のパーソナリティーに益をもたらすものではない、ということを知るべきです。

　真に価値あるものとは、簡単にできることでしょうか？何であれ現在のパーソナリティーに快楽をもたらすものが、現在のパーソナリティーにとって真の価値のあるものでしょうか？

Q：それは場合によると思います。もしあなたの快楽が他人の助けになるのなら、その場合には簡単にそれができ、困難なことではありません。

K：もちろん、何であれアガピと無条件の愛の結果としての行為は必ずしも快楽と見なされるわけではありません。なぜなら、快楽は低次のセルフ（自己）のためのものですから。快楽はエゴの結果です。ギリシャ語では私たちは<agalliasis>という言葉を使います。それは満足/深い快楽という意味です。

Q:私を満たすことができる何か、それは必ずしも私に多くの快楽をもたらすということではないですよね？

K：最愛のお方（＊イエスキリスト）が弟子に言いました…自分自身を愛するが如く他人をも愛しなさい、と。彼の述べたことの意味は…あなた自身がアガピである時、他人にアガピ、愛を現すべきである、ということです。最愛のお方は全てを比喩、例え話を使って人々に伝えました。イエスは、彼等に自分自身を愛しなさいという意味で言ったのではありません。少なくとも彼の意味した自分、セルフとは、鏡の中に自分を見てそれに魅せられる、という意味のセルフではありません。

Q：しかしまた、私たちがそれを行う時、それを行うことが快楽をもたらすということも受け入れる必要があります。もし快楽を感じないなら、それを行うことなど考えないでしょう。

K：私たちがレッスンのなかで述べたことは、人々が経験していくプロセスです。エゴから来る努力ですら最終的にはエゴを殺すであろう、と言いましたね。ですから、エゴイズムの価値をも軽視すべきではありません。しかし、私たちが何であれ真にLifeそれ自体からのものを現そうと思うなら、エゴイズムを除去する必要があります。

EREVNA/PYR 48 KE06L11/052